

JIS K 0470 : 2008

土砂類中の全ひ素及び全鉛の定量－
エネルギー分散方式蛍光X線分析法
解 説

訂 正 票

位 置	誤	正
簡条 2	<p>独立行政法人産業技術総合研究所（以下、産総研という。）では平成 15 年度から 16 年度にかけて、蛍光 X 線分析装置メーカーの協力を得ながら、“土壌中の有害金属の簡易分析技術”の開発を行った。さらに、産総研は社団法人産業環境管理協会とともに、JIS 原案作成委員会を開催し、平成 18 年 1 月から 7 月までの間に延べ 3 回の審議を経て JIS 原案を作成し、平成 19 年 3 月に経済産業大臣に工業標準化法第 12 条による申出を行った。</p>	<p>独立行政法人産業技術総合研究所（以下、産総研という。）では平成 15 年度から 16 年度にかけて標準基盤研究を実施し、蛍光 X 線分析装置メーカーの協力を得ながら、“土壌中の有害金属の簡易分析技術”の開発を行った。さらに、産総研は社団法人産業環境管理協会に委託して、JIS 原案作成委員会を開催し、平成 18 年 1 月から 7 月までの間に延べ 3 回の審議を経て JIS 原案を作成し、平成 19 年 3 月に経済産業大臣に工業標準化法第 12 条による申出を行った。</p>
簡条 6	<p>原案作成委員会 構成表</p>	<p>産総研では、平成 15 年度から 16 年度にかけて実施した標準基盤研究事業の成果を基に、社団法人産業環境管理協会に対して JIS 原案作成委員会開催の委託を行った。原案作成委員会の構成表は、次による。</p> <p>原案作成委員会 構成表 (丸 茂 克 美 氏の後に追加) 釜 土 祐 一 独立行政法人産業技術総合研究所</p>

訂正票とは、規格本体以外（解説ほか）に対する正誤を表します。

平成 20 年 7 月 1 日作成